

2009年7月7日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」

「学生支援推進事業」採択のお知らせ

中部学院大学（学長 岡本 健）並びに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）は、文部科学省が実施する「大学教育・学生支援推進事業」（テーマB：学生支援推進事業）の採択を受けました。本学はこれまで、学生の就職支援対策に力を入れて取り組んできましたが、同プログラム採択により、地域のニーズと学生の能力を見出して、双方にとってミスマッチのない就職を目指すほか、卒業生への進路満足調査などを行い、満足度 100%の巣立ち支援体制の確立を目指します。

記

■ 大学教育・学生支援推進事業とは

文部科学省では、平成21年度から、各大学・短期大学・高等専門学校から申請された、各大学等における学士力の確保や教育力向上のための取組の中から、達成目標を明確にした効果が見込まれる取組を選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的とした「大学教育・学生支援推進事業」を実施します。（文部科学省ホームページより）

■ 取組期間 平成21年度から23年度

- 経 緯 4月17日 文部科学省より募集告知
- 4月21日 説明会参加
- 5月13 - 15日 申請受付期間（テーマB：学生支援推進事業）
- 7月 7日 採択決定公表

■ 本学の取組 別紙参照

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 総合研究センター（担当：西堀） TEL:0575-24-2238（関キャンパス内）

中部学院大学

「進路決定率 100%・進路満足度 100%の巣立ち支援体制の確立」

【概要】

この取り組みは、学生の卒業後、40年間、地域に根を下ろして豊かな人生を送るための基盤づくりと位置づけている。学内対策を基盤に、地域の求人ニーズ調査、卒業生や保護者との密接な関係の構築、県経営者協会など外部機関との連携を図る。併せて、情報のデータベース化、評価検証機関の設置などで学生支援体制を強化する。

(学内対策)

- ・ 学生の意欲、主体性、就職スキルを高める少人数のラーニング・コミュニティの形成
- ・ 内発的なキャリア開発力の育成
- ・ 就職行動遅滞者・ミスマッチを繰り返す学生の早期発見

【趣旨・目的】

- ① (卒業生全員を対象とする) 進路決定率 100%の達成を目指す
- ② 学生と雇用双方の満足度 100%の達成を目指す

【背景】

YES プログラム(※1)の実施などにより就職基礎能力の育成に努めてきた。その結果、就職希望者の就職率は97-99%に達している。

※1 厚生労働省が創設した事業。企業が若年者の就職に関して特に重視している「コミュニケーション能力」「職業人意識」「基礎学力」「ビジネスマナー」といった就職基礎能力の修得を支援する。就職基礎能力の領域ごとに厚生労働大臣が認定した講座(試験)について修了(合格)し、あわせて情報・経理・語学関係の資格(定められたものに限る)を一つ以上取得することにより、同大臣名の「若年者就職基礎能力修得証明書」の交付を受けることができる。本学では全プログラムの「認定講座」を実施している。

【具体的な取り組み】

- ・ 卒業生も含めた学生の情報、雇用側の評価、満足度などの情報をデータベース化する
- ・ 有資格者によるカウンセリングスタッフを配置し、個別対応の窓口機能を強化する
- ・ 取り組み成果を産官学連携体制で検証し、学生のキャリア開発力形成支援を強化し、目標の達成を目指す。

中部学院大学短期大学部（幼児教育学科）

「学生シーズと現場ニーズのマッチングによる

個別的キャリア支援」

【概要】

学生が培った保育・幼児教育や児童福祉に関する力量や能力（シーズ）と、保育所・幼稚園・児童福祉施設が求める人材像（ニーズ）を、個々にマッチングすることで、双方の満足度向上を図り、早期離職の防止を目指す。

- ・ シーズ開発と成果の顧客的把握のための電子ポートフォリオ（※2）の作成
- ・ ニーズ調査と配信用情報の整備
- ・ シーズとニーズのマッチング
- ・ 評価

※2 ポートフォリオとは、ワークショップでの遊び体験や実習などの学びのプロセスで生み出す「学習成果」を、文章や写真、返却された実習記録、調べ学習の情報メモ、新聞の切り抜きやミーティング録などを一元的にファイルすること。電子ポートフォリオでは、データ化して管理する。

【趣旨・目的】

- ① 保育専門職としての力量とコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力の向上
ひいては、学士力の確保を図る
- ② 教員においては、創意工夫・評価の能力が求められ、教育力の向上を図る。

【具体的な取り組み】

- ・ シーズ開発を計画的に行い、電子ポートフォリオを作成する。
- ・ 保育所・幼稚園・児童福祉施設を対象に、ニーズ調査を実施する。
- ・ 2008年度卒業生に対して、就職満足度調査を実施する。
- ・ 就職先に対して、卒業生の状況調査を実施する。
- ・ シーズとニーズのマッチングを個別に実施し、結果を公表する。
- ・ 本年度を踏襲し、加えて公開発表会や公開フォーラムを開催する。